



RESOLUTION No. 37) ETHICAL INTERNATIONAL RECRUITMENT

第37号決議) 倫理的な国際的求人

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日-30日、南アフリカ・ダーバン

PSIは、移民労働者のニーズと権利を支援する効果的なキャンペーンの策定にあたり、グローバルユニオンの中で早い段階から積極的にリーダーを務めてきた。PSIの「移住と女性ヘルスワーカーに関する国際キャンペーン」は、国際移住の動向に影響を与えるプッシュ要因とプル要因について新たに重要な洞察を生み、移民を送り出す国の保健サービスの提供に移住が及ぼす影響の実証に役立った。重要なのは、移民ヘルスワーカーが情報に基づく意思決定ができるよう支援する、国境を越えた組合戦略がキャンペーンで確認された点である。これは労働移動の文脈で労働者と患者の権利擁護を継続する貴重な基盤となる。

移民労働者は法的資格や労働資格が不安定であるため、搾取を受けやすく、組合が事前に擁護と支援を行う必要性が高まる。利益を追求する国際求人業者は、現在の世界市場では事実上何の規制もなく活動している。しかし、批判に値するようなひどい乱用を非倫理的な求人業者から受けている移民労働者はあまりにも多い。

民間の求人・人材派遣業者が、移住の傾向を加速し、公的雇用とサービスの民営化に与してきた。そうした業者は、使用者および移民労働者自身から公共システムから法外な料金を徴収することで、私的利益を絞り出す新たな方法を見出した。

政府が求人業者を効果的に規制していないため、組合は、倫理的国際求人の基準を定め、求人慣行を監視するために、別の経路を模索しなければならない。そのようなモデルの1つに、複数利害関係者の交渉を通じて、使用者、求人者、組合、移民自身の意見を盛り込んだ自発的な行動綱領を策定する試みがある。取り締まる力は限られるが、そのような綱領は、ベストプラクティスを特定し、監視と説明責任の拡大を通じて行動を強化するために貴重なツールとなりうる。

したがって、PSIが以下を行うことを決議する。:

- ヘルスワーカーほか公共サービス労働者の倫理的な国際求人の基準を国家レベルで策定するにあたり、リーダーシップをとること、またこうした基準を監視し、強化するためにあらゆる手段を模索することを加盟組合に促す。
- 移民労働者の権利の乱用を暴き、国際求人業界において非倫理的な業者の情報を広める取組みを支援すること。
- 移民労働者が積極的に組合を結成し、組合に加入することを促し、メンバーが懸念する問題の支援と擁護を行うこと。
- こうした傾向の影響を評価し、効果的な組合政策とアドボカシーの策定をガイドするため、国際移住のパターンと求人慣行を引き続き追跡すること。

- 移民労働者をより良く代表・擁護し、全ての国において安定した雇用と質の高い公共サービスの要求を拡大するために、移民を送り出す国と受け入れる国のPSI加盟組合間で連帯と協力を推進すること。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議[Congress resolutions](#)を参照のこと